公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

探鳥会スタッフ通信　2018年10月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆日本野鳥の会栃木県支部　探鳥会リーダー研修会参加報告・・・・・・・・・・・・・1
◆2018 年度「探鳥会リーダーズフォーラム」締め切りが近づいています！・・・・・・・3
◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・5
（2018 年８月分）
◆普及室からのお知らせ・・・・・・・・・・7
・2018 年度「全国ツバメのねぐら入り観察会」報告
・秋期「初心者向けバードウォッチング」開催一覧
・冬期「初心者向けバードウォッチング」の実施概要をお送りください
◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・9
◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・10
◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・10

◆日本野鳥の会栃木県支部　探鳥会リーダー研修会参加報告

９月 22 日（土）に、日本野鳥の会栃木県支部が探鳥会リーダー研修会を開催しました。栃木県支部のリーダー研修会は、近年では、2015 年（※１）、2016 年に開催され、今回は、2017 年の愛知県支部・案内人サポーター講習会（※２）を参考にしながら主に既存のリーダーを対象に開催されました。

ここでは特に、普及室で担当した「ワークショップ：参加者とのコミュニケーション」について紹介します。

（参考　※１　探鳥会スタッフ通信 2015 年 11 月号　３ページ
http://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/staff201511.pdf
※２　探鳥会スタッフ通信 2017 年 11 月号　２ページ
http://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/staff201711.pdf ）

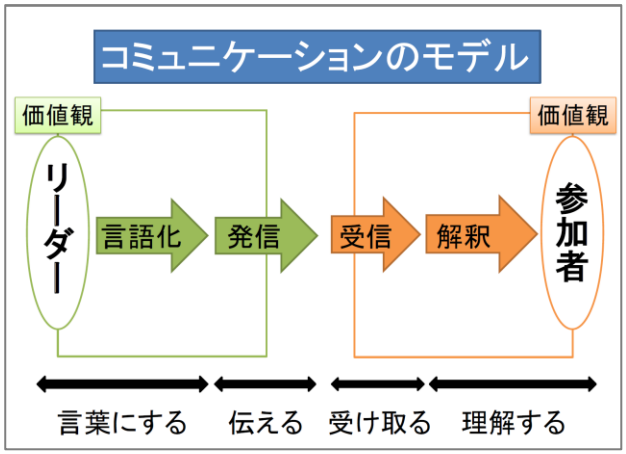
■開催概要

『楽しい探鳥会をつくる研修会』
【開催日】９月 22 日（土）９：30～17：00
【会場】宇都宮市総合福祉センター
【参加者】29 名（日本野鳥の会栃木県支部 24 名、日本野鳥の会東京１名、日本野鳥の会埼玉２名、財団事務局から箱田、堀本）
【テーマ】「感動、親切、心地よさ」を感じてもらえる楽しい探鳥会をつくろう！
【スケジュール】
9:30　開会
支部長挨拶
説明：日本野鳥の会について
9:50　自己紹介
10:20 グループワーク
「楽しいと感じる探鳥会とは？」
11:00 説明：探鳥会保険
11:30 意見交換：新規探鳥地の検討
12:00 昼食
13:00 報告
「アンケート結果から見えてくる参加者の気持ち」
13:20 ワークショップ
「参加者とのコミュニケーション」
14:30 意見交換
「こんな時どうする？～事例と対応～」
15:40 グループワーク
「今後の探鳥会をこうしていきたい！」
16:10 意見交換
16:30 閉会
17:00 懇親会

■ワークショップ「参加者とのコミュニケーション」の内容

このワークショップでは、探鳥会でリーダーが参加者に何かを伝える場面を想定して、伝え

ることの難しさや、伝えやすくするための工夫について、考えました。
　まず、探鳥会でコミュニケーションが上手くいかないケースについて、グループで意見交換をしました。次に、コミュニケーションの過程を４つの段階に整理し、各過程で、どんな問題が生じうるのかを説明しました。



▲リーダーから参加者に伝わるまでの ４ つの過程

　最後にグループで、コミュニケーションをスムーズにするためにリーダーができる工夫を考えました。

言葉にする段階
- 専門用語は使わない/使う場合は補足する
- 抽象的な言葉は避ける（鳥の場所の説明）

伝える（話す）段階
- 表情は笑顔
- マイクを使う
- 人数が多いときは小グループにする
- 紙芝居や図鑑などビジュアルで説明する

受け取る（聞く）段階
- 声が届く場所に参加者に近づいてもらう
- 声が聞こえているか確認する（参加者に確認する、リーダー同士でフォロー）
- 静かな場所を選んで話す
- 時間が遅れそうな場合は参加者に確認を取る/コースを短くして終了時間に間に合わせる

理解する段階
- 遠くの鳥より近くの鳥をじっくり見せる
- 同時に複数のことを伝えない
- 情報過多にしない
- 参加者の層やレベルに応じた内容にする（参加者を見極める）
- 参加者に質問してもらう

▲グループワークであがった工夫

▲発表の様子

■まとめ

　研修会の中で、入会者を対象に実施したアンケート結果の共有があり、「探鳥会では野鳥がたくさん見られること以上に、『リーダーや会員が親切で、雰囲気が良いこと』が重要であること」が、改めて確認されました。本研修会に参加したリーダーの皆さんは、自由に意見交換をしながら、楽しい探鳥会やコミュニケーションについて考える機会となっていたようでした。
　また終了後のアンケートでは、次回の研修会テーマについてリスクマネジメントや救急対応などを希望する声があり、意欲の高さが伺えました。

（普及室／堀本理華）

◆2018 年度「探鳥会リーダーズフォーラム」締め切りが近づいています！

今年度も探鳥会リーダーズフォーラムを開催します。初の東北での開催となります。遠方からのご参加の方には交通費を補助いたしますので、全国の皆さんのご参加をお待ちしています。

＜日　　時＞ 2019 年 2 月 16 日（土）13:00
～17 日（日）12:00
＜主　　催＞ （公財）日本野鳥の会　普及室
＜旅行実施＞（株）南海国際旅行
＜会　　場＞ エスポールみやぎ（宮城県仙台市）
（http://www.seinenkaikan.or.jp/ ）
＜対　　象＞ 支部、連携団体の探鳥会に関わっている方
＜定　　員＞ 40 名（定員になり次第締め切り）
＜参 加 費＞ 10,000 円
（宿泊費、1 日目夕食、懇親会、2 日目朝食込）
＜お申込み＞
以下のサイトからお申込みください。まず個人登録画面で登録を済ませてから、分科会選択用画面に移行して登録してください。
https://www.pac-sys.net/nmes-nankai/entry/?tanchou-kantou2019
＜お申込期間＞
2018 年 8 月 24 日（金）
～2018 年 12 月 31 日（月）
定員になり次第締め切ります。
＜補助制度＞
①分科会発表者の方は参加費を半額補助いたします。分科会発表者および担当者の方は参加費のお振込みの前にメールで普及室まで連絡してください。
②公共交通機関を使用した場合の往復交通費が 2 万円を超える方には、超過した分の交通費を財団から補助いたします。（できるだけ各航空会社の早割、JR 各社の割引切符等でのご購入をお願いいたします。）
交通費の補助制度は、支部ごとに申請をして頂きます。利用される方がいる支部は、申請についてのご案内をメールにて差し上げます。普及室まで、早めにご連絡下さい。

◎お問い合わせ先
（公財）日本野鳥の会　普及室
メール：tancho-staff@wbsj.org
担当：箱田、関

＜プログラム ※予定＞

1 日目（2/16）
12:30　受付（昼食は各自でご用意ください）
13:30　オリエンテーション
ワールドカフェ
「探鳥会について話そう（仮題）」
15:00　アイスブレイキング
15:30　全体会
16:00　A 分科会
18:00　チェックイン、休憩
18:30　夕食
19:30　懇親会

2 日目（2/17）
7:30　朝食、チェックアウト
8:45　B 分科会
10:15　休憩、移動
10:30　全体集会
12:00　終了

▲昨年の様子

＜ 分 科 会 ＞

１日目（2/16）

A-1「ビギナー探鳥会で入会者を増やそう
～3 支部の取り組み事例から学ぶ～」
手塚（栃木県支部）、樋口（神奈川支部）、坂野（宮城県支部）

ビギナー向け探鳥会で入会者を増やしている３つの支部から、ビギナー探鳥会に対する考え方、具体的な実施方法とその成果などをお話ししていただきます。支部の規模や地域性により、それぞれのやり方、考え方の違いと共通点を浮き彫りにして、それをどのように自分の支部に導入したらよいか考えてみましょう。

A-2「鳥だけでなく人にも優しい！
～体の不自由な人のための探鳥会の実践～」
土居（鳥取県支部）、坂根（京都支部）、塚田（もりおか）

近年、視覚や聴覚に障がいのある方、車いすの方を対象にしたバリアフリー探鳥会（体の不自由な方のための探鳥会）を実施する支部が増えてきています。

この分科会では、鳥取県支部、京都支部、もりおかの事例を紹介していただき、日本野鳥の会と福祉分野とのコラボレーションについて考えてみたいと思います。

A-3「女子探鳥会は支部を活性化させるか?」
細谷（山形県支部）、武田（福井県）

女性が積極的に参加できている支部は、活気があって、風通しがよいことが多いようです。今、全国の支部で「女性が活躍できる支部」を目指して、女子探鳥会を始める支部が増えています。

今回は、女性対象の探鳥会を実施している支部の事例をご紹介し、女子探鳥会導入の考え方やその効果について考えてみたいと思います。

２日目（2/17）

B-1「総点検！探鳥会のリスクマネジメント」
箱田、堀本（財団普及室）

探鳥会中の転倒、他の通行人との接触、熱中症・・・。探鳥会には意外と多くの危険が潜んでいます。以前は重視されなかった、近年の異常気象や自転車やランナーの増加、インターネットによる情報の流出などリスクが多様化しています。ここで、あらためて探鳥会のリスクマネジメントを確認しておきませんか。10 月に財団主催で開催した研修会の事例紹介とプログラムを体験していただき、探鳥会のリスクマネジメントについて議論してみたいと思います。

B-2「わかりやすいホームページをつくろう」
手塚（栃木県支部）、小林（宮城県支部）

栃木県支部では、ここ数年、ビギナー探鳥会を通じて入会者を増やし会員増の成果を上げています。そして、ビギナー探鳥会に参加する大きなきっかけになっているのが支部のホームページだということがわかってきました。

この分科会では、ホームページを整備することの重要性を栃木県支部の事例から再確認するとともに、1 年前に栃木県支部にならってホームページを整備した宮城県支部のその後の進捗も紹介していただきます。

B-3「野鳥の会育ちの子どもたちが
社会を変える」
笠原（神奈川支部）、土居（鳥取県支部）、小嶋（福井県）

ここ 3～4 年の傾向として、ジュニア会員が微増しています。その傾向は、ビギナー探鳥会にも反映されているのか、子どもの参加が目立つようになってきました。しかし、当会には子どもを対象としたプログラムや指導体制が十分ではないため、このままではせっかく興味を持ってくれた子どもたちの参加の機会を逃してしまう可能性があります。

そこで、今回は鳥取県支部と福井県での子どもラムサールの活動などの事例から、今後の野鳥の会の子ども事業の在り方を議論してみたいと思います。

◆探鳥会保険集計結果（2018 年 8 月分）

8 月は 65 支部からご報告をいただき、計 173 回の探鳥会が開催され、のべ 4,128 人が参加されました。

表 1. 8 月の探鳥会保険集計結果（2018 年 9 月 15 日現在）

支部	開催回数（回）	参加者数		スタッフ数（人）	合計人数（人）
		会員(人)	非会員(人)		
オホーツク支部	1	21	8	1	30
根室支部	−	−	−	−	−
釧路支部	−	−	−	−	−
十勝支部	−	−	−	−	−
旭川支部	0	0	0	0	0
滝川支部	−	−	−	−	−
道北支部	2	8	2	2	12
江別支部	−	−	−	−	−
札幌支部	2	68	33	7	108
小樽支部	2	3	5	2	10
苫小牧支部	0	0	0	0	0
室蘭支部	0	0	0	0	0
函館支部	−	−	−	−	−
道南桧山	1	10	7	3	20
青森県支部	−	−	−	−	−
弘前支部	2	18	0	2	20
秋田県支部	4	35	5	4	44
山形県支部	1	15	1	1	17
宮古支部	−	−	−	−	−
もりおか	1	11	9	5	25
北上支部	−	−	−	−	−
宮城県支部	1	20	11	2	33
ふくしま	2	45	10	4	59
郡山支部	2	40	19	5	64
二本松	−	−	−	−	−
白河支部	2	1	0	8	9
会津支部	−	−	−	−	−
奥会津連合	−	−	−	−	−
いわき支部	1	18	14	1	33
福島県相双支部	−	−	−	−	−
南相馬	−	−	−	−	−
茨城県	9	67	85	14	166
栃木県支部	5	56	53	19	128
群馬	4	45	74	17	136
吾妻	0	0	0	0	0
埼玉	3	95	10	16	121
千葉県	6	60	16	24	100
東京	13	284	26	61	371
奥多摩支部	6	95	23	22	140
神奈川支部	7	91	22	22	135
新潟県	0	0	0	0	0
佐渡支部	−	−	−	−	−

富山	1	16	3	2	21
石川	3	33	88	10	131
福井県	0	0	0	0	0
長野支部	1	41	2	2	45
軽井沢支部	1	6	5	1	12
諏訪支部	1	2	3	2	7
木曽支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	0	0	0	0	0
甲府支部	2	26	3	4	33
富士山麓支部	1	4	2	2	8
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	1	9	0	2	11
南富士支部	1	34	31	2	67
南伊豆	0	0	0	0	0
静岡支部	-	-	-	-	-
遠江	2	52	15	6	73
愛知県支部	8	97	71	26	194
岐阜	0	0	0	0	0
三重	1	7	21	2	30
奈良支部	4	71	140	8	219
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	4	18	21	8	47
京都支部	2	56	32	5	93
大阪支部	13	149	101	60	310
ひょうご	5	36	125	18	179
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	3	13	28	3	44
島根県支部	1	13	12	1	26
岡山県支部	3	44	22	10	76
広島県支部	2	23	29	2	54
山口県支部	2	14	37	4	55
香川県支部	2	47	4	2	53
徳島県支部	5	68	20	5	93
高知支部	-	-	-	-	-
愛媛	4	39	36	7	82
北九州支部	2	16	0	2	18
福岡支部	6	52	12	16	80
筑豊支部	4	37	6	4	47
筑後支部	-	-	-	-	-
佐賀県支部	2	33	17	4	54
長崎県支部	-	-	-	-	-
熊本県支部	2	24	6	3	33
大分県支部	2	31	22	3	56
宮崎県支部	3	27	17	3	47
鹿児島	2	27	15	7	49
やんばる支部	-	-	-	-	-
石垣島支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
全国	173	2271	1379	478	4128

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆普及室からのお知らせ

■2018 年度「全国ツバメのねぐら入り観察会」報告■

今年度、財団に実施概要をお送りいただいた支部の「ツバメのねぐら入り観察会」がすべて終了しました。財団では、以下の広報を実施しました。
（2018 年 6 月号参照：
http://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/staff201806.pdf）

（1）パンフレット「ツバメのねぐら入り観察会」送付（全国約 37,000 名）
（2）財団 HP 上に特設ページ開設
（3）一斉メール送信（全国約 54,000 名）
（4）野鳥誌 7、8 月号へ掲載

（1）（3）の広報の成果について、6 支部からご協力いただき、観察会の参加者名簿から調べました。その結果、会員外の参加者のうち、平均 14 名（約 41%）の方（同伴者を含む）が当会の広報を受け取っていることが分かりました（表 2）。

表 2．当会の広報による参加

支部	日程	開催場所	参加者数（リーダーを除く）	会員でない参加者数	パンフレットやメールを受け取っている人数（割合）
茨城県	8月11日	花貫川河口	52名	41名	12名（29%）
栃木県支部	8月18日	渡良瀬遊水地★	48名	28名	18名（64%）
群馬	8月26日	多々良沼公園	81名	62名	13名（21%）
東京	8月18日	多摩川下流★	15名	14名	14名（100%）
愛知県支部	8月5日	細口池公園※	67名	36名	14名（39%）
三重	8月18日	揖斐川	27名	21名	12名（57%）

★：事前申込み制　※：開催日・開催場所変更

【小冊子プレゼントハガキ設置のお願い】
上記の（1）パンフレットや（3）メールは、財団が作成している『おさんぽ鳥図鑑』などの小冊子に申し込んでくださった方にお送りしています。引き続き、支部の活動エリア内で小冊子プレゼントハガキが設置できる場所がありましたら、普及教育グループまでお知らせください。

（公財）日本野鳥の会　普及室
普及教育グループ
TEL：03-5436-2622
E-Mail：nature@wbsj.org

▲『おさんぽ鳥図鑑』プレゼントハガキ表紙

■秋期「初心者向けバードウォッチング」開催一覧■

2018 年度秋期（10 月～12 月）「初心者向けバードウォッチング」は、23 支部とともに 43 回開催します。11 月号からは、職員が取材させていただいた探鳥会を紹介していく予定です。

来年度以降に「初心者向けバードウォッチング」の開催をご検討している支部の方のうち、見学をご希望される方がいらっしゃいましたら、財団普及室（TEL：03-5436-2622、FAX：03-5436-2635、E-mail：tancho-staff@wbsj.org ）までご相談ください。

表 3. 2018 年度「初心者向けバードウォッチング」秋期日程一覧

NO	実施日	曜日	支部	実施場所
1	10月6日	（土）	栃木県支部	井頭公園
2	10月14日	（日）	根室支部	明治公園
3	10月21日	（日）	根室支部	市民の森
4			福井県支部	中池見湿地
5	10月28日	（日）	埼玉	緑の丘公園
6	11月3日	（土・祝）	苫小牧支部	ウトナイ湖周辺
7			遠江	浜名湖ガーデンパーク
8	11月4日	（日・祝）	宮城県支部	青葉山公園
9			南富士支部	田貫湖
10	11月11日	（日）	根室支部	明治公園
11	11月17日	（土）	埼玉	見沼自然公園
12	11月18日	（日）	根室支部	市民の森
13			神奈川支部	三浦海岸
14			大阪支部	自然史博物館 長居植物園
15			宮崎県支部	平和台公園
16	11月23日	（金・祝）	東京	日比谷公園
17			京都支部	鴨川右岸 （三条大橋～賀茂大橋）
18			滋賀	南郷洗堰
19			奈良	平城宮跡
20	11月24日	（土）	千葉県	千葉公園
21			埼玉	黒浜沼
22			栃木県支部	鳥野目河川公園
23	11月25日	（日）	神奈川支部	こども自然公園
24			諏訪支部	諏訪湖横河川河口
25			佐賀県支部	佐賀県立森林公園
26	12月1日	（土）	東京	日比谷公園
27			千葉県	江戸川河川敷
28	12月2日	（日）	大阪支部	服部緑地
29	12月8日	（土）	栃木県支部	栃木県中央公園
30			埼玉	大宮公園
31			滋賀	甲賀の里山 （甲賀市甲南町）
32	12月9日	（日）	根室支部	明治公園
33			茨城県	茨城県植物園
34			三重	松阪農業公園 ベルファーム
35	12月15日	（土）	京都支部	岡崎疏水 （琵琶湖疏水）
36	12月16日	（日）	根室支部	市民の森
37			茨城県	乙戸沼公園
38			群馬	つつじが岡公園 城沼
39			和歌山県支部	紀伊風土記の丘
40	12月22日	（土）	神奈川支部	山下公園
41			栃木県支部	永野川緑地公園
42			滋賀	守山みさき自然公園
43	12月23日	（日・祝）	鹿児島	石橋記念公園

※色付きの支部は、今年度はじめて「初心者向けバードウォッチング」を開催する支部です。

■冬期「初心者向けバードウォッチング」の実施概要をお送りください■

2018 年度「初心者向けバードウォッチング」の冬期（2019 年 1 月～3 月）開催分の実施概要を募集しております。

8 月 31 日付で支部事務局あてにご送付しました資料をご覧いただき、冬期に「初心者向けバードウォッチング」を開催される支部のみなさまは、10 月 15 日（月）までに実施概要をお送りください。

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信 10 月号の電子メール版の購読者数は、先月と同じ 841 名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 4. 探鳥会スタッフ通信 10 月号電子メール版の購読者数（2018 年 10 月 9 日現在）

支部	購読者数
オホーツク支部	6
根室支部	0
釧路支部	2
十勝支部	1
旭川支部	3
滝川支部	1
道北支部	1
江別支部	0
札幌支部	5
小樽支部	3
苫小牧支部	2
室蘭支部	5
函館支部	0
道南桧山	1
青森県支部	1
弘前支部	5
秋田県支部	4
山形県支部	4
宮古支部	1
もりおか	4
北上支部	2
宮城県支部	39
ふくしま	4
郡山支部	1
二本松	1
白河支部	2
会津支部	2
奥会津連合	0
いわき支部	1
福島県相双支部	0
南相馬	0
茨城県	22
栃木県支部	59
群馬	24
吾妻	1
埼玉	38
千葉県	24
東京	67
奥多摩支部	48
神奈川支部	25
新潟県	2
佐渡支部	1
富山	2
石川	29
福井県	10

支部	購読者数
長野支部	1
軽井沢支部	1
諏訪	7
木曽支部	1
伊那谷支部	1
甲府支部	4
富士山麓支部	0
東富士	0
沼津支部	3
南富士支部	3
南伊豆	2
静岡支部	2
遠江	9
愛知県支部	44
岐阜	6
三重	19
奈良支部	3
和歌山県支部	5
滋賀	20
京都支部	30
大阪支部	26
ひょうご	15
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
島根県支部	13
岡山県支部	28
広島県支部	9
山口県支部	16
香川県支部	6
徳島県支部	6
高知支部	1
愛媛	15
北九州	11
福岡支部	12
筑豊支部	21
筑後支部	5
佐賀県支部	5
長崎県支部	1
熊本県支部	14
大分県支部	4
宮崎県支部	4
鹿児島	3
やんばる支部	0
石垣島支部	1
西表支部	1
合計	841

（普及室）

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

★編集後記

日も短くなって、段々と秋めいてきましたね。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

今月号では、栃木県支部の研修会の一部を報告しました。もしもみなさまも、支部のイベントで、新しくリーダーになった方や支部の運営に関わることになった方とお会いした際には、「探鳥会スタッフ通信」の購読を紹介していただけますと幸いです。

そして！「探鳥会リーダーズフォーラム」の締め切りも近づいてきました。去年、私は探鳥会リーダーの方々や、支部のホームページ担当の方々がご自身の想いを熱く語り合われている場に同席させていただき、とても勉強になりました。ご参加のお申込みはまだ受け付けしておりますので、ご検討いただけますと幸いです。

（普及室／井上奈津美）

日本野鳥の会
探鳥会スタッフ通信 第67号
◆発行
（公財）日本野鳥の会　2018年10月12日
◆担当
普及室　普及教育グループ
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
TEL：03-5436-2622
FAX：03-5436-2635
E-mail：tancho-staff@wbsj.org